

授 業 科 目 名	児童家庭福祉	教 員 名	高橋 博	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独		保育士	必修
科 目 番 号	SEN302	配当年次	3年後期	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
単 位 数	2単位				小幼コース	選択
科 目						
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
一 般 目 標	<p>児童と家庭を取り巻く状況は、少子化、核家族化、家庭や地域の子育て機能の低下、就労や経済的課題など問題は厳しさを増している。そこで、児童家庭福祉の理念や歴史をふまえつつ、児童家庭福祉の現状と課題についての理解を深め、児童家庭福祉推進のための、児童の家庭を支援する体制や仕組みづくりの考察を行う。</p> <p>(1) 児童家庭福祉の理念と原理 児童家庭福祉の理念をふまえ、定義や内容を理解する。</p> <p>(2) 児童家庭福祉の制度とサービス 児童家庭福祉の取り巻く状況をふまえ、その対策に向けたサービスを理解する。</p>					
到 達 目 標	<p>(1) 児童家庭福祉の理念と原理 1) 児童家庭福祉の理念や構造を理解している。 2) 児童家庭福祉の原理である子どもの権利を理解している。</p> <p>(2) 児童家庭福祉の制度とサービス 1) 児童家庭福祉の歴史や制度を理解している。 2) 児童家庭福祉の問題解決に向けたサービスを理解している。</p>					
授 業 の 概 要	<p>現代社会における児童家庭福祉の理念と歴史の変遷を学習する。また、児童家庭福祉の現状と課題をふまえ、児童家庭福祉と保育、児童家庭福祉の制度と実施体系を理解する。さらに、児童家庭福祉推進に向け、児童の家庭を支援する園・家庭・地域の連携ネットワークや仕組みづくりを考察する。</p> <p>アクティブラーニングとして、振り返り、グループディスカッション、グループレポート、個人レポートなどを取り入れる。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授 業 計 画	<p>第1回：講義概要の説明（本講義の主旨および講義計画について） 児童家庭福祉の考え方Ⅰ（目標(1)-1） （1）児童家庭福祉とは何か 1) 児童家庭福祉における子どものとらえ方 2) 児童福祉から児童家庭福祉へ 3) 児童家庭福祉が目指す社会像</p> <p>第2回：児童家庭福祉の考え方Ⅰ（目標(1)-1, 2） （2）児童家庭福祉の構造 （3）子どもの権利と親権 1) 子どもの発見 2) 保護の対象としての子ども</p> <p>第3回：児童家庭福祉の考え方Ⅰ（目標(1)-2） （3）子どもの権利と親権</p>					

3) 児童の権利に関する条約の特徴

4) 親権と子どもの権利

第4回：児童家庭福祉を取り巻く状況（目標(2)-1))

(1) 少子化

(2) 子どもを取り巻く福祉問題（貧困や虐待）とその対策

第5回：児童家庭福祉の歴史（目標(2)-1))

(1) 近代以前の日本の児童家庭福祉

(2) 戦後日本の児童家庭福祉

第6回：児童家庭福祉行政の仕組み（目標(2)-1))

(1) 児童家庭福祉を支える法律の概要

(2) 児童家庭福祉の行政

第7回：児童家庭福祉の機関と施設（目標(2)-1))

(1) 児童家庭福祉にかかわる機関

(2) 児童家庭福祉にかかわる施設

第8回：健全育成サービス（目標(2)-2))

(1) 子どもの健全育成の範囲

(2) 子どもの健全育成の目標

(3) 児童厚生施設

(4) 地域組織活動

第9回：母子保健サービス（目標(2)-2))

(1) 母子保健の歴史

(2) 母子保健の現状

(3) 母子保健施策

(4) 母子保健サービス

第10回：保育サービス（目標(2)-2))

(1) 保育サービスとは

(2) 保育サービスの現状

(3) 保育サービスの内容

第11回：要養護児童への福祉サービス（目標(2)-2))

(1) 社会的養護とは

(2) 子どもの養育の体系

(3) 社会的養護の現状と動向

(4) 社会的養護サービスの内容

第12回：障害児福祉サービス（目標(2)-2))

(1) わが国における障害の定義

(2) 障害児福祉施策の概要

(3) 障害児福祉サービス

第13回：少年非行への対応（目標(2)-2))

(1) 非行の現状

(2) 非行の種類

(3) 非行少年への対応プロセス

(4) 近年の非行の形

第14回：ひとり親家庭への福祉サービス（目標(2)-2))

(1) ひとり親家庭に対する支援の必要性

(2) ひとり親家庭に対する支援の展開と内容

(3) 母子福祉関係施設

第15回：全体まとめ

定期試験

<p>学生に対する 評価</p>	<p>レポート提出20%、発表20%、定期試験60%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
<p>時間外の学習 について</p>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回講義の最後に、次回の講義内容のテキスト箇所を伝えるので、入念に予習しておくこと。また、不明な点等は調べておくこと。</li> <li>・講義を受けて、レポート課題があるときは、必ず次回の授業で提出すること。</li> <li>・講義で使った資料やノート of ファイル管理を徹底すること。</li> <li>・講義で使用したテキスト箇所を必ず復習しておくこと。</li> </ul>
<p>テキスト</p>	<p>福田公教・山縣文治『児童家庭福祉 [第5版]』 ミネルヴァ書房 2017年</p>
<p>参考書・ 参考資料等</p>	<p>『児童の権利に関する条約』 『幼稚園教育要領 (平成29年告示)』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成29年告示)』 『保育所保育指針 (平成29年告示)』</p>
<p>担当者からの メッセージ</p>	<p>自学自習、ディスカッション、発表など積極的なアクティブラーニングに取り組むこと。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>毎学期オフィスアワーの時間帯を紹介する。(毎週○曜日 ○○:○○～○○:○○) その他の日時はメール等でアポイントを取って来室すること。</p>